

**第13回全日本企業対抗ゴルフトーナメント**  
**大会ルール**  
**～全予選・全地区決勝・全国決勝大会共通～**

1. ゴルフ規則  
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2013及び大会ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定  
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. 使用球についての規格及び規則  
本競技ではワンボール条件は適用しない。
4. 移動  
各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。  
（乗用カートを設置していないコースは除く。）
5. ホールとホールの間での練習禁止  
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。  
この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。  
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）
6. 陰悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定
  - 全チームが9ホールズを消化している場合→競技成立
  - 全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。
  - 【第1優先】全出場選手4名の9ホールズ合計スコア  
（3名出場の場合は同順位の中で最下位となる）
  - 【第2優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア
  - 【第3優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア
  - 【第5優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア
  - 【第4優先】チーム内で第1に少ない打数の選手の「カウントバック方式」によって決定する。
7. アドバイス  
プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。  
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

8. 第2の球をプレーする場合の処置

疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。

第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※ 第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をおおぐこと。

9. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

10. メンバー変更について

出場メンバーは最初の予選出場時のメンバーから大会全体を通して2名までの変更が可能。

11. クラブに関しては、JGA附属規則Ⅱの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル

(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。

※ 「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

12. 距離計測やホールレイアウトの確認

プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。

※ スタート説明時など、ラウンド前にマーカーの選手に機器の使用を告げてください。

(音声で伝えるシステムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないように注意してください。)

12-a. 上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。

12-b. 使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。

12-c. プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件

(傾斜、高低差、風速 など)を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。

・ 携帯電話、スマートホンの使用は可。但し、傾斜を測定する機能は使用不可である。

・ 高低差表示機能を有する機器は高低差を表示しない設定での使用は可能である。

※ このローカルルールにおいて2-bの違反した場合下記の通りとなる。

・ 初回の違反 : 1罰打

・ 2回目の違反 : 2罰打

・ 3回以上の違反があった場合は競技失格とする。

※ 12-cの違反があった場合は競技失格とする。

※ (規則14-3及び附属規則Ⅳに基づく)

13. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

13-a. 特設ティでは指定区域内に球をドロップしてプレー再開するものとする。

※ このローカルルール(13-a)の違反は2罰打とする。

※ 特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

#### 14. コールオン（後続組先打たせ）方式について

パー3のホールに限り、  
先行組の選手は自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で  
後続組の選手全員がティーインググラウンドまで来ている場合、  
全体的なプレーのペースアップの為に、同伴キャディの判断のもと、  
パッティンググリーン上にある球の位置をマークして拾い上げ、  
後続組の選手全員がティショットを済ませるまでプレーを控え、  
後続の組にティーインググラウンドからプレーさせることができる。

先行組からプレーするように求められ、後続組がそれに応じたときは、  
その段階で後続組の各選手は、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり  
援助することになりそうと思われるときは何時でもその球をマークして  
拾い上げて良い、との許可を先行組の選手及びキャディに与えたものとみなす。  
尚、拾い上げた球は先行組の選手及びキャディが必ず元に戻すこと。

#### 15. スロープレーに関する罰則（当該組全員が2打罰を負う）

15-a. 中間スコアの提出が前の組と15分以上離れた場合。（前半の最終ホールに2打罰）

15-b. 18Hアテストカードの提出が前の組と15分以上離れた場合。（後半の最終ホールに2打罰）

15-c. プレー中マーシャルから2回目の警告を受けた場合。

（二回目の警告を受けた次のホールに2打罰、最終ホールの場合はそのホールに2打罰）

※ ボールを探す時間は5分までと定められています。

#### 16. タイスコア時の決勝方法

【第1優先】全出場選手4名中、打数の少ない上位3名の18ホールズ合計スコア。

【第2優先】全出場選手4名の18ホールズ合計スコア。

【第3優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア。

【第4優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア。

【第5優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア。

【第6優先】チーム内で第4に少ない打数の選手の「カウントバック方式」によって決定する。

※ それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

以上

平成26年5月23日  
全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
競技委員会

## ゴールデンバレーゴルフ倶楽部 特別規則

1. アウト・オブ・バウンズ（OB）の境界は、白杭で表示する。ただし、1番ホールにおいては、現にプレーするホールの黒線杭で示す境界線を越えて隣接ホールに止まった球は、アウト・オブ・バウンズ（OB）の球とみなす。注）9番ホールプレー中においては、黒線杭は動かさない障害物とする。
2. 修理地の区域は、「青杭」または「白線」をもってその限界を標示する。
3. ラテラル・ウォーター・ハザードは、「赤杭」をもってその限界を標示する。
- ~~4. 指定ホール（3番、15番、17番、18番）で球がラテラル・ウォーター・ハザードに入った場合、罰1打を付加し、前方の指定ドロップ区域にドロップしてプレーすることができる。（選択制）  
指定ホール（1番、4番、5番、6番、7番、9番、10番、13番、14番、16番）でティショットがOBまたはロストボールの場合、前方の特設ティのラインより2クラブレンジスの範囲で2打付加し、ドロップしてプレー続行しなくてはならない。  
注）ドロップした球はドロップした際に球がコース上に最初に落ちた箇所から2クラブレンジス以内の所に止まった場合、たとえその球がホールに近づいたり指定ドロップ区域の外に出て止まってもインプレーとなる。  
本ローカルルールの罰打は、違反のあったホールに2打付加とする。~~
5. パターが破損し使用不可能なとき以外の、グリーン上でのパター以外のクラブの使用を禁止する。  
本ローカルルールの罰打は、違反のあったホールに2打付加とする。
6. スルー・ザ・グリーンで、自分のピッチマークに球がくいこんでいる時は、その球は罰無しにこれを拾い上げて拭き、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所に出来るだけ近い所にドロップすることが出来る。
7. バンカー内の流水跡の凹地に球がある場合は、異常なグラウンド状態による障害が生じたものとし、ゴルフ規則25-1bによる救済を受けることができる。
8. スルーザグリーン（砂地の場所を除く）で、自分のピッチマークに球がくい込んでいる時は、その球を罰無しに拾い上げてこれを拭き、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所に出来るだけ近い箇所にドロップすることが出来る。
9. 特別規則の追記または改定は随時クラブハウス内に掲示する。

### 大会特別ルール（西日本地区決勝）

- ① ゴールデンバレーゴルフ倶楽部 特別規則の4に記載のある「特設ティ」と「ドロップエリア」は、2014団体戦西日本地区決勝では使用いたしません。
- ② 15.スロープレーに関する罰則
  - 15-a、中間スコアの提出について、前の組から不当に15分を越える遅延があった場合。
  - 15-b、正式な（18Hの）スコアの提出について、前の組から不当に15分を越える遅延があった場合。
  - 15-c、プレー中、マーシャルから不当な遅延に対する警告を受け、それが改善されない場合。当条項の罰則は、aおよびbについては最後にプレーしたホールに2打罰を付加。  
15-cの違反は2度目の警告以降そのたびにプレー中のホールに2打罰を付加する。

# タイムパー表

ゴールデンバレーゴルフ倶楽部

	ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	PAR	5	4	3	4	4	4	5	3	4	
	HDCP	7	1	15	13	3	9	5	17	11	
OUT	TIME ALLOWED	18	15	13	14	15	15	17	13	15	135 MIN
	Cumulative		33	46	60	75	90	107	120	135	

	ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	PAR	4	5	4	4	4	3	4	3	5	
	HDCP	10	4	16	2	12	14	8	18	6	
IN	TIME ALLOWED	15	18	14	15	15	13	15	12	18	135 MIN
	Cumulative		33	47	62	77	90	105	117	135	